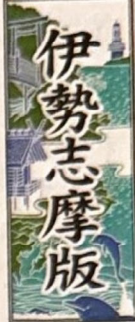


全国コンテスト「DCON」本選出場目指す

ミカンやノリ 食害対策 開発中

鳥羽商船高専(鳥羽市)の学生が、人工知能(AI)のディープラーニング(深層学習)やものづくりの技術を生かした作品を制作し、事業性を競う「全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト(DCON)」の本選出場を目指している。計3チームが一次審査を通過し、ミカン農園やノリ養殖場での鳥類の食害を防ぐ仕組みなどを開発中。本選出場となれば学校から2年ぶりで、各チームが準備を進めている。



やっぱりおいしい
ミエライズ



「目が合わないよ(こ) 私 雨降ってないのに何で傘さすの?」
孫 お月さまが見てるから怖い、でね!
みずたに・もも(4) 東員町山 町、母・中里香織
なかと・わか(5) 伊勢市柏



鳥羽商船高専チーム 意気込み

白石和章教授の研究室で 土実樹農園のかんきつ類が 荻田龍斗さん(情報機械 カラスやヒヨドリに食べら システム工学科3年)らの れてしまう被害に注目し、 チームが、南伊勢町にある 鳥獣害の予測、通知のため (阿部竹虎)

鳥羽商船高専は9月、農 業の課題解決に向けて東海 農政局拠点と連携協定を 結んだ。食害に困っている

のシステムを開発中。カメ ラを設置してAIで鳥を認 識し、羽数や飛来した時間 のほか、気温、湿度、風 向、風速なども計測し、デ タを蓄積して飛来条件の 分析を試みている。

土実樹農園の相談を農政局 が受け、協定先の高専に引 き継いだことをきっかけに 荻田さんらの開発が始まっ た。 現在は、学校近くの池に 飛来するカモに対し、求愛 や威嚇をする際にカモが出 す音をスピーカーで流し、 カモの反応を観察する調査 に取り組んでいる。今後も ドローンの飛行試験などの 準備を重ね、仕上げていく という。

昨年であった「DCON2023」の本 選では、鳥羽商船高専から2チームが出 場。江崎教授の研究室からは、小坂優太さ ん(現生産システム工学専攻1年)らのチ ャームが10チーム中2位に入り、経済産業大 臣賞を獲得した。 スマートフォンに専用器具を取りつけて プラスチックごみに接触させ、スマホのカ メラ機能やアプリを通じてポリプロピレ ン、ポリエチレンといった材質を判定する 装置を発表した。リサイクル促進に役立つ ため、現在も民間企業と連携した共同開発 が続く。

▽老朽化した公共施設 田丸の町屋内体育館は老朽 化が進んでおり、新たな体 育館の建設計画を進めてい る。2026年度に基本設 計、27年度に実施設計をす る予定。

▽【玉城町】再開。渡辺昌 行、井上容子、山口欣也、 南雅彦、北守、中西友子、 坂本稔記の7議員が一般質 問した。主な答弁は次の通 り。

▽認知症対策と支援 知症への正しい理解の普 を目的としたサポーター 成講座や、行方不明の恐ろ がある高齢者の情報を登 録できるSOSネットワー 制度などを実施している。 今後も早期発見や予防の ための体制を強化し、認知 症になっても安心して暮ら せるまちづくりを目指す。

▽伊勢市クラシックキタ を楽しむ会例会「アウエマ ア」15日(日)後21:30、伊勢市八日市場の市 会福祉協議会福祉センター 階多目的ホールで。会の広 進さんが、「アメイジンググ レイス」など15曲ほどを披露 する。予約制で参加費800 円。



中村忠彦町長は「弓道 体力だけでなく集中力も 事になる競技だと思っ 常心で臨んで頑張って」 エールを送った。(大見亜蘭)

伊勢高校(伊勢市)の弓 道部に所属する度会町棚橋 の関守愛さん(2年)が 25・27日、四日市市で開か れる第43回全国高校弓道選 抜大会に出場する。4日に 町役場を訪れ、大会への抱 負を述べた。

関守さんは、11月2日に 松阪市で開かれた県予選予 会に女子団体の部へ出場。 6校の中で2位に入り、全 国大会出場を決めた。いっ せも2年の北村夏希さん、 菊川理央さん、浅田葵さ などの4人で大舞台に挑む 関守さんは「理想の射 で弓を射ることができ る、大会本番まで練習を み重ねていきたい。当 は、これまでの成果を発 して優勝したい」と決意 語った。

「理想の射形で」優勝狙う 伊勢高生 全国大会へ抱負

23年本選出場 2チーム快挙 プラ材質判定装置発表

田、祖母・水谷裕子 (叔母のベティキユア) 子 きれーい! くっ下はかない